

わたくしたちは、利根川と手賀沼にかまれば自然と歴史にはくまれた我孫子の市民です。

わたくしたちは、田園教育文化都市をめざす市民としての誇りをもち、朝日への熱いこころで、ここに市民憲章を定めます。

水と緑と土のにおいいっぱい、住みよいあびこにします。

心と体をきたえ、生き生きと働き、伸びゆくあびこにします。

老人を大切に、子どもの夢を育て、幸せなあびこにします。

ふるさとを愛し、文化を高め、勤かなあびこにします。

みんなで話しあい、きまりを守り、明るいあびこにします。



—小中学生作文・絵画コンクール作品から— 白山中2年 浦田みか

市制20周年記念特集

未来の我孫子

ぼくが考える我孫子市の未来の姿は、大きなデパートや、大学、博物館や水族館ができているということだ。大勢の人が、東京からも、柏からも、いばらき県からも、我孫子市へ向かって集って来る。ある人たちは、研究のために、またある人たちは、家族づれて買い物を楽しんだり、水族館を見学したりする。水族館には、昔は手賀沼にたくさんいたという、クナゴやマブナ等が川にうよまいていて子どもたちは、その中に入ってザリガニを追いかけている。……ぼくのこういう考えは、単なるゆめに終わってしまうのだろうか、ぼくはそうは思わない。……

湖北台西小5年 米川比呂志 (作文の中から)



議長 佐々木 豊 治



市長 大井 一 雄

祝 市制二十周年

市制施行二十周年をここに迎え、市議会を代表して、ひと言お祝いを申し上げます。

我孫子市が昭和四十五年に市制を施行して以来、二十二年、人間に例えるならば、成人を迎えた大変意義深い年でありました。

頭みますと、首都圏近郊という立地性から、未曽有の人口急増を招き、過半は次代を

とりを求める時代へと転換を促してまいりました。

今日、柔軟で幅広い行政対応が求められています。市では、基本構想の将来都市像である「手賀沼のほら」、やすらぎのまち、実現のために高齢化情報化、国際化社会や多様な要求も時代とともに大きく変容し、物の豊かさから心のゆ

担う子等を育む教育施設整備に、多大な人力と財力を注がなければなりません。

このことは、今日なお都市的機能のバランスを確保するに至らず、交通アクセスや文化的諸施設の整備、高齢化社会への対応等々、市民の要望は山積しております。

市議会としては、これらの諸問題を解決し、活力ある夢と希望に満ちた文化都市を目指して、精進してまいります。

市政に対する市民の皆様より一層のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

皆様のご健勝をお祈りいたしまして、お祝いのことばといたします。

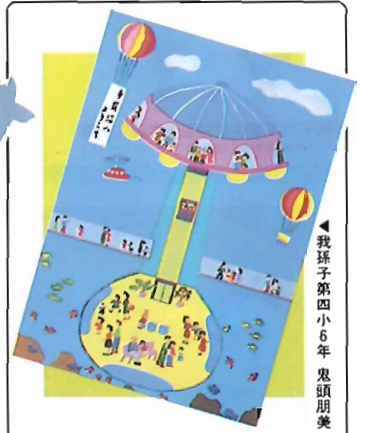
我孫子市は、昭和四十五年に市制を施行し、本日で満二十年を迎えました。

この間、豊かな自然と良好な環境を求めて大勢の方々が本市に移り住んでこられ、市の人口は、当時の四万七千人から今や十二万人へと発展してまいりました。また、人々の要求も時代とともに大きく変容し、物の豊かさから心のゆ

この記念すべき年を「二十一世紀へはばたく出発の年」にして、諸施策を計画的に推進してまいります。

そして、歴史と文化を大切にしながら、市民の皆様が心から誇れるまちづくりに取り組んでまいります。

我孫子市20年の歩み



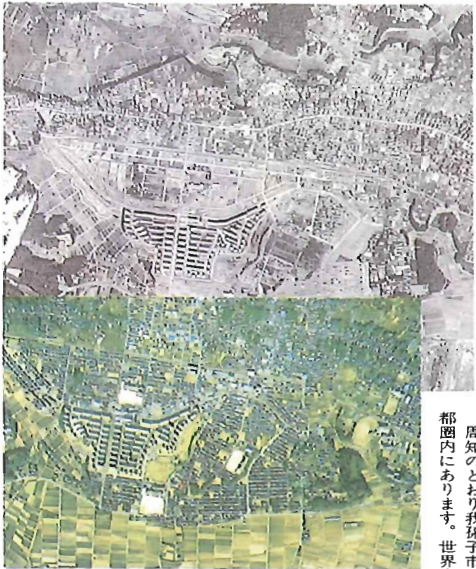
我孫子第四小6年 鬼頭顕美

市制施行20周年。それは地方自治体の我孫子市が誕生して今年で20年をむかえたこと。この20年間に、首都圏内にある我孫子市域は、未曾有の発展を遂げ、人口5万人に達する町から12万人をこえる市へ。その地域の20年のあゆみと、そこで暮らしてきた「ファミリー」の足りから市民生活を、まず振り返る。

その我孫子市が、元は旧我孫子町、湖北村、布佐町、富勢村(一部)の地域であったことは、よく知っておかなければならず、その多様な地域性を、手賀沼周辺全体の近代の視野のなかで、つぎに振り返る。こうして、二度、振り返ったあと、市制20周年を記念した小中学生の図画と作文から「未来のあひこ」をイメージするというのが、本特集の趣向です。

レールと地域の発展

現代我孫子市の誕生から20年の歩みには、近代120年の地域の歴史を動かしてきた原則が生きています。それは、田線の開通は、地域構造や生活様式に大きな影響をもたら



昭和45年(左)と平成2年の湖北地区(写真提供:京葉測攝社)

通の動向に多くを左右されていくという点です。明治20年代の常磐線・同30年の成田線の開通は、地域構造や生活様式に大きな影響をもたら

しました。それと同様に、過去の歴史に類のない現代の大きな地域変容は、千代田線の開通(昭和46年、以下表参照)そして天王台駅の開設

中央から西へ東へ

人口が毎年10%も増えた地域はどのように変容をとげてきたのでしょうか。

一方、四季折々の季節の色をみせていたなだらかな丘や小さな谷が、色鮮やかな屋根をもつ住宅やコンクリートのマンションが建ちならぶ市街地へと変わってきました。

そのことを端的に示すものは、日本住宅公団湖北台団地の完成です(昭和45年入居)。一挙に6000人が住民となりました。次に天王台駅周辺の市街地化、ついで根戸・久寺家を開発したつくし野の造成、そして布佐・平和台の宅地開発が主なものとしてあげられます。これらの開発は、東西に長い市域の中央から西

街は成熟の季節へ



鳥の博物館2階の企画展示コーナー「巨鳥の歩んだ道」

都市化の進行による地域の変容は、昭和40年代から大規模な宅地造成が終了する55年ごろまでと、それ以降にと、ひとまず分けることができるでしょう。昭和40年から55年

までには人口は約3倍、年ごとに10%の増加をみましたが、55年以降の10年は2万人の増で、年間平均2%の増傾向となり、地域のなかに以前と比べて、一定の落ちつきがみられるようになりました。

このころより、公共機関の新設では、市民会館(昭和54年)、市民図書館(同年)、市民体育館(同61年)、鳥の博物館(平成2年など)地文化施設建設が目立ってきました。

一方、手賀沼の水質汚濁は沼周辺の都市化の進展とともになつて進出し、漁業・農業問題を含めた周辺の地域課題として顕著なものとなりました。現在、長年にわたって懸念だった我孫子駅周辺は都市改造で大きく姿を変えつつありますが、この街づくりは、都市化の成熟度に関わらず、現在になされておらず、基礎的な都市化への基盤整備に加えて、地域社会全体の自然環境をなめたい意味での文化性や、そのなかには、あるいはその周辺に反映されることが望まれるでしょう。そのためには、地域のシンボル手賀沼を、生活を育む鏡として大切に、沼と共生する内発的な街づくりが何より求められるでしょう。

市制20年の主なできごと

年	月	事項
昭和40年	10月	●第10回国勢調査実施(人口33,168人・7,701世帯)
	4月	●中央学院大学開校
	9月	●中央公民館開館
	9月	●我孫子電報電話局開局
42年	1月	●一幡堂高校開校
43年	6月	●消防布巾支出室所開設
	4月	●我孫子町役場新庁舎完成
	7月	●手賀沼干拓土地改良事業完了
44年	10月	●湖北台西小学校、湖北台中学校開校
45年	4月	●我孫子高校・中央学院高校開校
	5月	●日本住宅公団湖北台団地入居開始
	5月	●消防署湖北出張所開設
	5月	●市制施行(全50655番目・県下22番目)
	7月	●人口5万人となる
46年	4月	●千代田線開通、天王台駅開校
	6月	●若保育徳、湖北台保育園開校
	12月	●米橋架け替え完成
47年	7月	●市民プール開設
48年	3月	●フリーセンター・操業開始
49年	11月	●成田線電化(我孫子〜成田間)
49年	12月	●老人福祉センター(つくし荘)開設
50年	5月	●栗あひこ保育園開校
50年	10月	●高野山小学校開校
51年	4月	●根戸保育園開校
52年	4月	●農小小学校、久寺中学校開校、並木保育園開校
52年	5月	●商工会館新築落成
53年	4月	●湖北台東小学校開校
53年	4月	●市役所つくし野支所開設(つくし野保育園開校)



常磐線複々線完成記念 46.4.20 東京電気鉄道建設局

最近「ふるさと」そんな気がして

我孫子市の誕生後間もない、昭和47年12月に保々さんの家族は、神奈川県茅ヶ崎市市の海辺の近くから現在の久寺家へ自ら転入してきました。家族構成は、ご主人の和宏(49歳)さん、妻敏子(50歳)さん、大学生の長女羊子(21歳)さん、高校生の次女直子(17歳)さん、そして和宏さんの田舎暮らしの99歳のお婆さん。我孫子での生活が10月に入った保々さんのお宅を訪ね、これまでの生活の様子を伺いました。

我孫子駅まで歩いて35分、今では20分

和宏さんは、東京へ通勤する強行員。転入当初は、現在のように道路整備されていないこともあって、我孫子駅まで歩いて35分ほどかかったといえます。

当時は久寺家1・2丁目から歩いて野へ抜ける道もなく、二階堂高校の脇を通り、じや



保々さん親子(右から敏子さん、和宏さん、直子さん)と昭和47年12月入居当初の家

入居当初の2カ月は電話のない暮らし。家が少なかった当初は、柏の布施方面や二階堂高校がよく見えるほどでした。回りには何もなかったんです。

電話線が引かれなかったため、入居して2か月以上電話のない生活が続いたといえます。近くに公衆電話も設置されていない状態でした。

「家が少ない状態でした。狭い」と悪路のためか、久寺家方面へ行くのを敬遠したようです。



クリスマス(昭和53年)

市制施行以来、市の人口は急激に増加。児童、生徒の数も年を追うごとに増えていき

現在、関西の大学で学ぶ羊子さんは、昭和50年に我孫子第一小学校久寺家分校に入学。翌年、根戸小学校分校と同時に他の久寺家分校の子供たちと一緒に新しい学校に通うことになっていきます。

昭和50年、羊子さんは久寺家分校に入学

市制施行以来、市の人口は急激に増加。児童、生徒の数も年を追うごとに増えていき

一緒に、草花を摘んだり、サイクリングをして楽しんでたところ。「生活に不便なところもあるけれど、自然が豊かで空気がきれい」と敏子さん。

ガールスカウトが地元と近所との接点に

近所の人々が少なく同年代だったことあって、何をやるにもまとまりのある地域。特に小さいころからガールスカウトをしていた敏子さんを中心にガールスカウト第45団が結成され、活動が始まると拍車がかかりました。



ガールスカウト活動(昭和54年)

我孫子へ入る文化的な町に発展を

「勤め始めて25年、仕事と家との往復が多く、自分のまちをみるとどうかがあまりなかったんですが、最近では『ふるさと』として、このまちを意識するようになってきました」と和宏さん。

ふれ合いながら、のびのびと育つ子供たち。教えているはずの夫人の方が教わっていたこともあったようです。こうしてガールスカウト活動が接点となって、地元の人や近所の人との交流も深められていきました。

遊び場は利根川の土手と近所の空地。民間宅地並み、建築住宅当初の入居者だった保々さんの家の回りには、まだ造成されたままの空地が多く、羊子さんと直子さんの格好の遊び場となっていました。



子供たちの遊び場、利根川の土手(昭和52年)

利根川の土手も人にとって忘れられない遊び場の一つ。母親の敏子さんや友達と一緒に、草花を摘んだり、サイクリングをして楽しんでたところ。「生活に不便なところもあるけれど、自然が豊かで空気がきれい」と敏子さん。

我孫子へ入る文化的な町に発展を

- 消防署つくし野出張所開設
- 湖北地区公民館開館、移動図書館開設
- 我孫子養護学校開校
- 布佐青山線・船橋我孫子線開通
- 白山中学校・湖北高校開校
- 新不眠線完成
- 湖北台市民センター開設
- 消防庁舎完成
- 市民会館、市民図書館開館
- 新不眠小学校開校
- 人口10万人となる
- 身体障害者福祉センター開設
- 水害用管理センター運転開始
- 市民会館・市民の歌制定
- 並木小学校開校
- 五本松公園・手園遊歩道完成
- 簡易サーブホム・ひまわり園開設
- 精神障害者更生施設(みどり園)開設
- 手園宏水清浄池(みずすまじ)進水
- 市民図書湖北分館開館
- 常磐線我孫子(取手側)複々線開通
- 布佐南小学校開校
- 保健センター開設
- 我孫子警察署開設(乗下35番目)
- 布佐高校開校
- 山極馬場研究所、我孫子に移転
- 布佐南近隣センター開設
- 市民体育館開館
- 消防署布佐分署開設
- 天王台北近隣センター開設
- 市民図書布佐分館開館
- 川村学園女子大学開校
- 精神障害者通学生産施設あづき園開館
- 我孫子駅北口駐車場開設
- 金谷通水開始
- 人口12万人となる
- 鳩の博物館開館



市民体育館

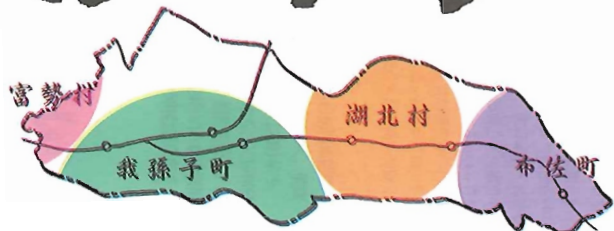


手賀沼遊歩道



根戸小学校

誕生の四重唱



一世紀前の町村誕生から

明治22年、町村制が施行され、我孫子町、湖北村、布佐町、富勢村が誕生しました。この町や村は、現在の我孫子市の前身にあたります。昭和29年11月1日には、富勢村の一部が我孫子町と合併。翌30年4月29日には、町村合併促進法に基づき我孫子町、湖北村、布佐町が合併し人口約2万5000人の我孫子町となり、我孫子市への基礎ができました。ここでは、合併までの2町2村の様子や合併にまつわるエピソード、我孫子町から我孫子市になるまでの道のりなどを振り返ってみました。それぞれに特色のあつた町や村。そして市誕生までの道のり。それは、今の我孫子市の活力の源といえるのではないのでしょうか。

鉄道開通で発展

楚人冠は通勤新住民第一号? 旧我孫子町



大正時代の我孫子駅

江戸時代、水戸街道の宿駅に過ぎなかつた旧我孫子町が、その後発展してきたのは、旧国鉄の前身「日本鉄道会社土浦線」が明治29年に開通するようになったからです。5年後に我孫子・成田間の成田線も開通、その翌年には我孫子経由の上野・成田間の直通列車も運行を開始しました。鉄道開通の社会的・経済的影響力がいかに大きいか。当時在郷町として、我孫子町より

は約2000、人口は約1万でした。これは明治・大正期を通じて、あまり変化がな、我孫子町域が、布佐町や湖北・富勢村域に比べると増加が大きい傾向が認められる程度です。しかし、昭和30年の町制、同45年の市制施行後の10月1日の国勢調査では、それぞれ約5000戸、2万5000人及び約1万3000戸、4万9000人となりました。千葉県は現在最も人口増加率の高い県ですが、当市はその中でも、高い方であり、柏家の調停案を基準にする分村合併を選択しました。明治22年、当市域の世帯数は

湖畔は高級別荘地



復元された志賀直哉の書齋

我孫子が北の鎌倉と称され、志賀直哉、武者小路實篤など白樺派の文人や芸術家が来訪在住したのは、大正4年から10年頃にかけてのことです。当市出身の歯科医師血路武、その気象学者岡田松之助、農業者岡田武松、その家を納泊五郎らの活躍も忘れなくてはなりません。農業中心の当地域において、中等教育が、実業補習学校の形をとって実現したのは、大正8年のことですが、柏に東高等学校が開校したのは、同13年です。町村誌や郷誌が盛んに編まれたのもこの頃です。また、千葉のおおきくの名産といわれる、野菜

自宅の庭でくつろぐ杉村楚人冠(昭和初期)



住するようになりま「白樺派」の作家たちには、自分たちも述べたように、「湖畔時社」は俳句が表立った趣意でしたが、そこに集う地域住民の職業も幅広く、郵便局員、駅員、自転車屋などさまざまでした。楚人冠の湖畔時社は我孫子の風土・人に対する愛の歌です。

明細な手沼沼の田園風景が眼の前に広がる我孫子は、明治末年より別荘地としてここに版図する人々があらわれ、武者小路五郎を皮切りに、その甥の柳宗悦、さらには志賀直哉、武者小路實篤、いわゆる「白樺派」の作家たちが定

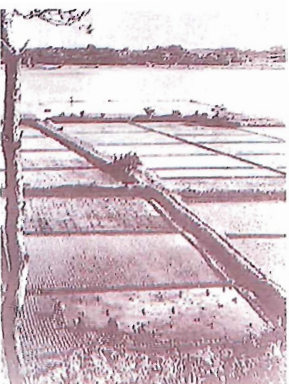
水運から陸運へ

柳田國男が故郷を離れ、布川の地に来たのは、明治20年のことです。利根川は舟運の盛んなときで、運送が思い

煙を吐きながら走っていた時代でした。利根の運河が開削されたのもこの頃でした。しかし、明治29年には日本

律義な村民性 村をこぞって東京行商へ

湖北村



中里新田の田植風景(昭和初期)

合併時の総地積は、906・3町2畝かに増えて田地29、細地27となり、人口増による宅地の増加のため細地の減少が特に目立ちます。次に、合併時までの人口の推移を見ると、大正9年2911人、昭和5年3068人、9年3389人、15年3556人、22年5033人、25年5170人、30年5422人です。明治29年から昭和5年

我孫子市



昭和34年には成田線が開通し、ようやく輸送は水上から陸上へと変換する時を迎え、我孫子駅は鉄道交通の重要拠点となりました。

日本の国は、富国強兵の声を高く、明治27年には日清戦争に、また同37年には日露戦争に、国民を駆り立てた時代です。我孫子駅の近くには、山一合名会社社屋支店が開業し、生糸の生産を始めたのは、明治39年でした。

同じ頃、近隣町村に本店を持つ銀行の開業もあり、取手銀行(現富陽銀行)我孫子支店が開設されたのは大正3年のことです。折しも、第一次大戦に参戦した年でもありますが、明るい方では、家庭に電灯がともったのもこの頃です。

沼周辺の都市化とともに

戦後の復興は、まず農業の振興と食糧増産から始まり、GHQ主導の農地改革、土地改良法の公布、統制の撤廃を経て、日本経済はインフレを脱します。当地に特徴的なのは、手賀沼の干拓で、これは昭和21年に着手され、43年に完成します。また、同時期に利根遊水地の開拓も行われていきます。手賀沼と利根川は、美しい自然と豊かさがもたらす反面、水害の恐怖を与え続けてきました。

昭和30年代に入ると、柏市の光ヶ丘団地などの宅地開発が、日本住宅公団や京住宅公社によって手がけられます。

一方、周辺地域の急速な開発は近年の干拓と相まって、自然の浄化能力を失わせ、新たに沼の汚濁という問題を地域課題として残しました。



布佐の出来(大正時代)

水運で栄えた河岸

のまちから教育のまちへ
川布佐町

布佐利根川の堤防は元はもと低く、堤防の内側にも家がズラリと軒を並べていました。その河岸に船着き場や水戸の浜辺から、また霞ヶ浦から龍や燈、箱等に詰めた新鮮な魚を満載した船が早朝に着き、人々はこれを忙しく馬の背に積んで次から次へと亀成の方へ送り出し、なま街道と呼んだ沼南を通る道を松戸へ向け急がせたのでした。松戸からは再び船で、夕刻から夜までには江戸日本橋に到着する急行便であつたそうです。布佐河岸は下と並ぶ冬の鮮魚運搬の重要な拠点で、17世



栄橋附近の利根川に浮ぶ高瀬舟(明治時代後半)

は手賀沼へ押入る惨状を呈し、跡には切所沼が出来ました。明治43年の大水害には決壊を免れましたが、この後堤防の家を移され、町側の家の入口も間道間に変えさせられ、今に至るまで、切所沼は昭和27年の利根川改修と共に埋め立てられました。現在の市街地となりました。

明治37年の統計によれば、布佐町明治22年より町の人口は3000人強、米約2500石、農業人口割合は40%で、我孫子町、湖北村より、専業農家も低率でした。明治34年には成田線が開通し、舟運から鉄道時代の入ると船舶関係の仕事をした。家の倒産も増えました。

一方、明治41年には、聯議院に布佐文庫が松



行商風景(昭和30年代)

の人口は2868人でした。大正9年発行の「湖北村誌」によると、当時の総人口は8738人で、このうち占める割合は田地23、畑地37、宅地5、山林16、原野16、池沼25%程度でした。昭和30年我孫子町への

20000人の増加です。これらの人口増は、主に戦後からの疎開者や外地からの引越者、また戦地からの復員者、江戸時代からの沼前期頃までは、人口も総人口に対する割合もほとんど変化もなく静かな農村でしたが、戦争を機に一変しました。人口が増加しはじめた昭和初期頃には不景気のどん底で、農家は農産物の買入金にも困り、その頃から現金収入になる東京への行商が始まりました。この行商は、戦後疎開者や引揚者にとって大切な働き口でもありました。また、農家の中心的な働き手である男衆は戦争へと取り出され、その数は

村中が揺れた2度の合併 警官隊の出動も

川富勢村

富勢地区は現在、我孫子市の最西端にあつて、柏市の境界を重複して形成しています。しかも、根戸、布佐など、同じ地名が両市にまたがって存在しているのは、過去の経緯を推測させざるを得ません。

田富勢村は、明治22年に根戸、宿巻寺、布佐、久米家(以上上相馬郡の各村)、呼塚新田、根戸新田、松ヶ崎新田、柏柳ノ内新田(以上印旛郡の8地区が合併して誕生しました。しかし合併の過程で、最大の戸数をほの布佐村全体の56%とその他の村々が村会議決選挙をめぐって対立を激化させ、その解決を求め、県知事や内務大臣、大蔵大臣にまで訴えをおこすという事態が一年近くも続いたのです。

その後70年近い歳月を経て、昭和29年に富勢村は、我孫子町と東葛市(柏市)に分村して編入されることになりました。一部、布佐の一部、根戸新田の一部及び呼塚新田の一部が我孫子町に移りました。

しかし、その合併過程でまたしても合併派との間で紛争が27年



富勢村役場(歴史アルバム)

次代を担う子供達が、将来どのような夢を抱いているのか。変わりゆく社会、環境の変化に対し、わたしたち大人の社会に、ふるさとあひこを素直に表現してくれました。今回の取材にあたって、20年前を掘り起こすことは厳しく、未来のあひこを夢みながら、この土地を去った子どもたちも多くいました。子どもの夢をどうか覚えていくか、もう一度現実を問い直す時でしょう。



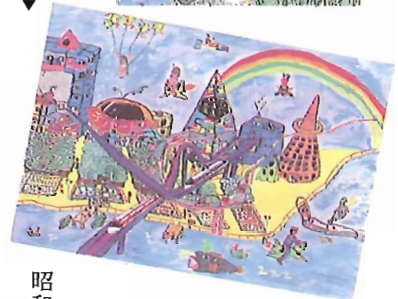
●我孫子中3年 豊佳代



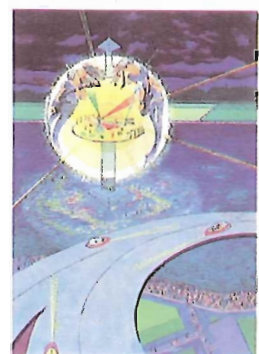
▲布佐小5年 野口立



▶白山中1年 松田睦美
湖北台西小5年 早山梓



昭和45年文集「かつしか」



▲布佐中3年 野口あつき

未来のあひこ

がその水田を大きく二つに分けていた。

今は、その道も広い道路に作り直された。

道路を作るのは、国や市の仕事である。新しい道路のおかげで、私の生活は以前に比べても便利になった。バ

かおなければならぬ。一本の道を作るために、何十年もかけて育ってきた木々が丸ごと切り倒されるという。しかも、木々だけが死ぬのではない。そこに住む小さな生き物達までが生活の場を失ってしまうのである。近い将来

やしていききたい。私が中学1年生のとき、学校のJRC活動で古利根に行つた。大きなゴミ袋がいくつあっても足りなくて、あまりのこの量に驚いた。と同時に、いつもこのような活動をなさっている方もいるんだな

もきれいな並木道があったら、一般市民なのである。いくら市で呼びかけても、実行するのは私たちが市民なのである。

1人1人が我孫子市を良くしようとするべきであらう。私は、我孫子市を、さらにびやかなネオンサインのようにしたい。必ず陰で働いてい

る人がいる。そんな人がたくさんいてほしい。私の住む町の心

を物語っていると思う。いつか、母親になったら、

私が、母親に近づいたとき、

私は、町を愛する人として

なりたいと思う。いつか、母親になったら、



緑の町 我孫子

湖北中3年 浅間理奈

我孫子にも、本物の「くわがた」を見たことのない子供がふえてしまうかもしれない。開発(くわがた)とやみくみに緑の分は、目を向けてほしい。

私は、町の姿は住む人の心を物語っていると思う。いつか、母親になったら、

私が、母親に近づいたとき、

私は、町を愛する人として

あつちで、

私が、母親に近づいたとき、

私は、町を愛する人として

なりたいと思う。いつか、母親になったら、

私が、母親に近づいたとき、

あつちで、

私が、母親に近づいたとき、

私は、町を愛する人として

なりたいと思う。いつか、母親になったら、

私が、母親に近づいたとき、

昭和45年文集「かつしか」 ぴあのとわたし

湖北小1年 かまがたりえ

おあさんは、わたしが、ひけるように、なりまかえつくとすく、ぴあのをりなさい」といいます。わたしは、ぴあのは、おももつともつと、じょうずにしらないときも、あります

が、いつしようけんめい、やっています。それで、このごろは、だんだんおもしろくなってきた。

ぴあのの、せんせい、おんあのせんせい、いちのせの表紙にのったのは覚えていました。ピアノはもう10年以上弾いていないです。

でも、20年、早いんですね。今は、商社に勤めますが昔は、人家もまばらで夜は、裸電球ひとつ、怖く一人歩き

なんかなかったです。それが今は、仕事で遅くなくても、街路灯も明るく、安心して生活しています。



鎌形理絵さん

編集後記

本特集の構成にあたり、取材に協力いただいた方々や執筆していただいた市史研究センターの皆さんに、厚くお礼を申し上げます。なお、掲載した作文、絵画は、小中学生作文・絵画コンクール(の最優秀作品です。

健康ガイド



保健センターで

湖北台1の12の16
(湖北駅南口徒歩2分)
☎87-1131

テレホンサービス
☎87-1141

1歳6か月児健康診査

該当月に受けられなかった方もご利用ください。

▼持参 母子健康手帳、歯ブラシ(大人子供用各1本)

問診票(裏面も忘れず記入してください)

▲1歳6か月児健康診査日程

期日	時間	該当
7月13日(日)	9:15-11:00	見
7月6日(日)	昭和53年12月1日から15日生まれ	
7月13日(日)	昭和53年12月16日から31日生まれ	

栄養相談

肥満や糖尿病などでお困りの方、かたよった食事をして野菜などが不足していませんか。栄養士が指導いたします。

お気軽に相談ください。

▼申し込み 電話予約(日時をお知らせします)

献血にご協力を

献血をさせていただきます。

▶日時 7月9日(月) 午前9時30分から午後3時30分(正午から午後1時までは休憩)

▶場所 保健センター

▶問い合わせ 厚生課

肩こり・腰痛教室

肩こりや腰痛で悩んでいる人はいませんか。当日は個別相談もお受けします。お気軽にご相談ください。

▼申し込み 電話予約(日時をお知らせします)

担当 神経内科医横山達郎先生

期日	主な内容
7月3日(火)	身近な健康法(話し体操(深呼吸、体を動かす基本))
7月10日(火)	食事診断、栄養のバランスをとるために
7月17日(火)	正しい歯のみかき方と歯そのうのろうろの予防について
7月24日(火)	肩こり・腰痛予防の体操(体の状態をみながら体操を行います)

柏保健所から

3歳児健康診査

▼対象 昭和62年4月生まれ(通知がいきます)

▼日時 7月10日(火)受付午後1時15分から2時15分

▼場所 保健センター

▼持参 母子健康手帳、歯ブラシ、尿

▼指導 整形外科医による診察・指導、保健婦による相談

▼持参 母子健康手帳

精神衛生相談

保健センターでは、心の悩みを持つ方のために精神衛生相談を行います。

▼対象 平成2年3月以前に生まれ、1度もB.C.G接種を受けていない乳幼児(対象児には通知がいきます)

▼時間 午後1時15分から2時30分

▼持参 母子健康手帳 ※突然など心配な時は、主治医に相談の後おいでください。

▼ツ反および判定B.C.G日程

ツバピロ判定B.C.G

赤ちゃんは、生後3~4か月にもなると表情豊かなになり、よく笑うようになります。保健センターでは、この時期の赤ちゃんを中心に赤ちゃん体検を行っています。手足をよく動かすことなど、お母さんの働きかけによって赤ちゃんの成長をすばいものにすることがあります。ぜひおいでください。

▼内容 身体計測、赤ちゃん体操、栄養相談、歯科相談、保健婦の相談など

※乳児健診は母子健康手帳の

育児相談

赤ちゃんは、生後3~4か月にもなると表情豊かなになり、よく笑うようになります。保健センターでは、この時期の赤ちゃんを中心に赤ちゃん体検を行っています。手足をよく動かすことなど、お母さんの働きかけによって赤ちゃんの成長をすばいものにすることがあります。ぜひおいでください。

▼内容 身体計測、赤ちゃん体操、栄養相談、歯科相談、保健婦の相談など

※乳児健診は母子健康手帳の

しあわせ学級

お父さん、お母さんになる子供を生み育てることがどんなに素晴らしいことか、夫婦で考えてみませんか。

▼日時 7月21日(土)午前9時30分から11時30分(受付、当日会場9時15分)

▼内容 *16ミリ映画「母と子のきずな」*赤ちゃんのお風呂の入れ方(実習)および子育てについて *その他相談

回	期日	内容
第1回	7月2日(月)	お産の話 妊婦体操
第2回	7月9日(月)	妊娠中の歯科衛生 妊娠中と産後の保健
第3回	7月17日(月)	妊娠中の栄養 妊娠中毒症の予防(医師の話)
第4回	7月23日(月)	手づくりオムツ、赤ちゃんの栄養

期日	時間	該当
7月3日(火)	9:15-11:00	見
7月10日(火)	9:15-11:00	見
7月17日(火)	9:15-11:00	見
7月24日(火)	9:15-11:00	見

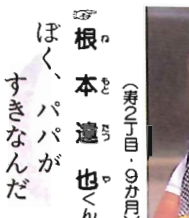
母親学級

▼時間 午前9時30分から11時30分(第3回は午後1時から3時)

すこやかちゃん



キテイちゃん
大好好き
向美佳ちゃん
(都部・1歳2か月)



根本達也くん
すきなんだ
(第2回・10・9か月)



お人形さんと遊ぶの
中野友実ちゃん
(中里・6か月)

予防接種は各医療機関で

下表の予防接種は医療機関で受けてください。

なお、MMR(新三種混合)麻疹・風しん、おたふくかぜ、おたふくかぜの予防接種を希望される方は、副作用のこともありますので、実施医療機関へご相談の後、医療機関で受けてください。

各予防接種の実施医療機関は、「保健センターのご案内」をご覧ください。

▼持参 母子健康手帳、印鑑

▼費用 就学前まで無料

疾病	該当者および接種期間
麻疹(はしか)	1歳の誕生日から就学前までの幼児(1回接種) なお、生後18か月から36か月までに接種すること が望ましい(8月を除く年間)
三種混合(百日咳)	1歳の誕生日から就学前までの幼児 なお、1期を生後48か月までに接種することが望 ましい。1期は3~18週の期間で3回接種、2期 は1期終了後1年以上あけて1回接種(8月を除 く年間)
日本脳炎	3歳の誕生日から就学前までの幼児 1期は1~2週間の間隔で2回接種、2期は翌年 (4月~7月)

そよかせ号(移動図書館) 7月の日程(荒天中止)

曜日	日	ステーション名	場所	時間(午後)
水	4・18	中湖	中湖地区公民館	1:30-2:10 2:20-2:50
	5・19	新木野	新木野児童公園	3:10-4:00
木	9・20	天王台	天王台児童公園	2:00-2:50
	15・21	青山台	青山台児童公園	3:10-4:00
金	6・20	久寺家	久寺家児童公園	2:00-2:45
	11・21	つくし野	つくし野児童公園	3:00-4:00
水	20・21	布佐	布佐青年館	2:00-2:45
	25・26	布佐平和台	布佐平和台児童センター	3:00-4:00
木	12・26	白山	白山児童公園	1:40-2:20 2:30-3:00
	23・27	並木台	並木台児童公園	3:20-4:00
金	18・27	根中	根中児童公園	2:00-2:40
	23・27	つくし野	つくし野児童公園	3:00-4:00

●油絵
作品・作者 風景画(8号)
森田茂(中里・静物画(6号))
寺山光郎(湖北台・花(6号)長
谷川浩(中里・静物画(6号))
内海靖正(湖北台)

●油絵
作品・作者 山打碑(12号)、芦の
湖(12号)、灯台(12号)
▼作者 伊原三(布佐)
▼展示期間 7月29日(日)ま



市国民図書館 ☎84-1110
湖北台分館 ☎87-0000
布佐分館 ☎89-1311
移動図書館 ☎87-0000

湖北台分館
実施日 7月5日(日)
7月19日(日)
7月12日(日)
場所 市民会館
第4会議室
布佐分館
おはなしのへや

おはなし会
子供たちに楽しい絵本の出会いを。健やかな成長を。という思いを込めて、楽しいおはなしや絵本の読み聞かせをしています。

4歳から9歳くらいの子供に集まれ!

▼時間 午後4時~4時30分

▼日程



「リス」は早くも多量繁殖。市民図書館のパソコンコーナーで、市民が早期発見のために、画像の増幅を撮影しています。

平成2年6月1日現在 人口121,057人(+1,318人)
 男60,867人 女60,190人
 ※世界数38,793世界(+900世界)

●市役所本庁 85-1111
 ●つくし野支所 84-8801
 ●湖北台支所 88-0828
 ●湖北支所 88-2111
 ●市役所支所 89-2358
 ●教育委員会 86-1151
 ●水道局 84-0111
 ●消防署 84-0119
 ●少年センター 84-1900
 ●保健センター 87-1131
 ●市民会館 84-3311
 ●中央公民館 82-0515
 ●馬の博物館 85-3212
 ●市民体育館 87-1155

●市民図書館本館 84-1110 湖北台
 分館 87-3055 市役所分館 84-1311
 移動図書館 87-0909

●都市改造事務所 86-1171
 ●身体障害者福祉センター 88-0141
 ●あさひ園 84-4188
 ●つつし荘 88-0123
 ●北流園(浄化槽) 87-3379
 (ゴミ) 87-0315 (トイレ) 88-2547

●市役所南支所 89-3740
 ●天王台北支所 89-0888
 ●湖北市民センター 88-9827
 ●市役所市民センター 89-1193

もよおし ほしゅう

ホテル観賞会

▶期日 7月7日(土)、8日(日)
 市役所へ午後7時集合(小幡決行)
 ▶問い合わせ 坂巻☎(82)2268

子供のための自然教室

楽しき遊びながら、手賀沼の植物・自然を観察します。
 ▶対象 小学4年生から中学生
 ▶日時 7月25日(水)午前9時30分から正午
 ▶集合場所 市民図書館前
 ▶定員 50名(先着順)
 ▶申し込み、問い合わせ ハガキに住所、氏名、職業、学校名、学年を明記し、7月18日(水)までに我孫子1855市民図書館☎(84)1110へ

市民ハイキング教室

▶期日 7月28日(土)、29日(日)
 ▶場所 尾崎/ハイキングコース
 ▶対象・定員 市内在住者40名(応募多数の場合は抽選)
 ▶費用 大人1万5000円、子供(小学生以下)1万2000円
 ▶申し込み、問い合わせ ハガキ(1枚が4名まで可)に住所、氏名、年齢、性別、電話番号を明記し、7月7日(土、必着)までに市696市民体育館☎(87)1155へ
 ※当選者への説明会を7月15日(日)に予定しています。

祝市制施行20周年 県知事杯開基大会

▶日時 7月15日(日)夜7時前9時、開始午前10時
 ▶場所 中央公民館
 ▶対象 市内在住、有勤・有学者
 ▶参加費 1000円(昼食付)
 ▶申し込み 当会受付
 ▶問い合わせ 我孫子市民局連盟 庶務課☎(82)2937

我孫子夏祭り

▶日時 7月14日(土)午後3時30分から18時30分
 ▶場所・問い合わせ 泉江我孫子競艇学校☎(87)0639

臨時保育

▶対象 資格を有する幼保からいまでの方
 ▶勤務場所 市内公立保育園
 ▶勤務時間 午前8時30分から午後5時
 ▶賃金 日額5000円
 ▶申し込み、問い合わせ 児童保育課

幼児教室保育者

▶勤務日時 9月1日より、午前9時から午後3時
 ▶人数 若干名(資格・経験不問)
 ▶申し込み、問い合わせ 栄崎幼児教室☎(85)2835

健康体操会員

▶内容 ストレッチ体操、リズムダンス等の組み合わせ
 ▶会費 月額2000円
 ▶場所 湖北台市民センター
 ▶申し込み、問い合わせ 農志村☎(88)0394

我孫子市民号

一筋の花笠と七宝塗り舟の旅
 ▶期日 8月5日(日)～6日(月)
 ▶費用 4万3000円
 ▶定員 180名
 ▶申し込み、問い合わせ 我孫子駅☎(82)0343、天王台駅☎(82)6336

市民会館の催し

「清和音ピアノ・コンサート」
 ▶入場料 S席2500円、A席2000円 日席1500円(全席指定)
 ▶入場券発売所 平賀書店、北口ゆづり、ミニオン楽器我孫子店、ブックスズキ、荻井書店、石川春光館、あびこセンター、レコードあつまる、ポピー、市民会館内売店ゆづり、図書館湖北台分館、図書館市役所分館、中央公民館、ゆづり、柏島屋、親手とうきゅう、中村屋
 ▶日時 7月6日(日)午後2時～2時30分開演(開場午後2時) 11:57

真と緑の博覧会—ちほ90コンパニオン—ホスト

▶資格 平成2年4月1日現在満18歳以上の健康な方(高校生不可)
 ▶人数 *コンパニオン100名程度 *ホスト45名程度
 ▶業務内容 *コンパニオン=場内アナウンス、会場案内、展示説明、改札ほか *ホスト=会場内の整理、誘導ほか
 ▶勤務地 常盤マッセ
 ▶雇用期間 11月18日～12月16日(11月上旬に7日間の研修あり)
 ▶給与 日額7000円(研修期間中は日額4000円)
 ▶応募書類 履歴書(11時半の写真(3カ月以内に撮影)を貼付)健康状態欄に身長、体重、視力を記入(3連格先を明記のこと。全身写真1枚(3カ月以内に撮影)のサイズ、裏面に住所、氏名を記載)
 ▶申し込み・問い合わせ 8月15日(水)まで(郵送の場合は当日消印有効)に〒260-91千葉市市場1-1泉豊政課内真と緑の博覧会—ちほ90実行委員会☎(472)23)3987へ

おさかな料理コンクール作品

▶応募資格 おさかな料理の好きなアマチュアの方
 ▶内容 魚をメインに使った若者向けのメニューで未発表のもの
 ▶応募方法・問い合わせ ハガキに住所、氏名、年齢、職業、電話番号、性別、未・既婚の別、メニュー名、材料、作り方、コツなどを明記し、7月15日(日、消印有効)までに〒273松橋市印内印599サンライズビル502号千葉県シーフード普及促進協議会おさかな料理コンクール事務局☎0474(37)0978へ

お知らせ

「ご存知ですか?」
 環境衛生金融22では、国民の生活と関係の深い飲食、美容、美容、旅館、クリーニングなど異業種衛生関係の営業の方々に、衛生面の向上、経営の近代化を図るための設備資金を融資しています。
 店の新築や増設、器具、備品の購入などにご利用ください。
 ▶問い合わせ 環境公庫業務課☎03(582)5416

おことわり

今後は市制施行20周年記念特集号を企画しましたので、「市民のひろば」はお休みです。
 =広報広聴課=

ふれあいと対話が楽しく明るい社会

7月は「社会を明るくする運動」月間
 失われつつある社会的連帯感をよみがえらせ、犯罪や非行のない社会をつくるため、市保健司会と市更生保護婦人会の皆さんが市内の駅前で「少年非行防止と更生の援助」のための広報活動を展開します。ご協力をお願いします。
 ▶日程・場所 7月17日(火)市



佐駅、新木駅、湖北駅 18日(水) 我孫子駅、天王台駅
 ▶時間 午前7時から8時
 ▶問い合わせ 厚生課社会係

成田赤十字病院で無料講習会

▶日時 7月30日(月)から8月2日(木)までの4日間午前8時30分から午後4時30分
 ▶定員 40名(先着順)
 ▶費用 テキスト代として600円 ※4日間通して出席してください。
 ◎赤十字家庭看護・老人家庭看護法講習会
 ▶日時 ◎基礎家庭看護…7月16日(月)から18日(水)◎老人家庭看護…8月27日(月)から29日(水)いずれも午前10時から午後4時
 ▶定員 ◎20名 ◎30名(基礎家庭看護終了者が対象)
 ▶費用 テキスト代として100円
 ◎申し込み・問い合わせ ハガキに氏名、住所、電話番号、生年月日、職業、受給希望の講習会名を明記し、〒286成田市飯田町90の1成田赤十字病院医療社会事業課☎0476(22)2311内線299へ

水稲の豊稔聖中

5月に植えられた稲の苗は気候の上昇とともにぐんぐん育っています。しかし、この時期は農家が水稲の害虫や病気に悩まされる時。今年も夏の日程で農業の空を散布を実施します。皆さまのご協力をお願いします。
 ▶日程 7月5日(木)、22日(日) =利根川沿いの水田 7月6日(金)、23日(月) =手賀沼沿いの水田(雨天、強風の場合は中止)
 ▶時間 午前4時30分から9時ごろまで
 ▶問い合わせ 農政課

明るい話題

♥我孫子ロータリークラブ様から福祉のためにつづら(ロータリー、職業、受給希望の講習会名を明記し、〒286成田市飯田町90の1成田赤十字病院医療社会事業課☎0476(22)2311内線299へ

日曜講習会、1講習の行事

テレホンサービス☎(85)1313

1日	●結婚相談所—あひだ(市役所)10:00-14:00 ●日曜講習会—市役所市民センター(市役所)10:00-14:00 ●市民図書館—市役所市民センター(市役所)10:00-14:00
2日	●消費生活相談—市民相談室10:00-15:00 ●健康相談—市民相談室10:00-15:00 ●子育て相談—市民相談室10:00-15:00
3日	●法律相談—市民相談室9:00から先着10名程度 ●ラブラビ研修
4日	●消費生活相談—市民相談室10:00-15:00
5日	●法律相談—市民相談室10:00-15:00 ●健康相談—ラブラビ10:00-11:30
6日	●消費生活相談—市民相談室10:00-15:00
7日	●消費生活—市民センター9:30-11:30
8日	●日曜講習会—テレホンサービス ●日曜講習会—市役所市民センター(市役所)10:00-14:00
9日	●結婚相談所—あひだ(市役所)10:00-14:00 ●市民図書館—市役所市民センター(市役所)10:00-14:00 ●子育て相談—市民相談室10:00-15:00
10日	●法律相談—市民相談室9:00から先着10名程度
11日	●消費生活相談—市民相談室10:00-15:00
12日	●結婚相談所—市役所市民センター(市役所)10:00-14:00 ●健康相談—ラブラビ10:00-11:30
13日	●消費生活相談—市民相談室10:00-15:00
14日	●消費生活(一部の他局は除く)
15日	●結婚相談所—あひだ(市役所)10:00-14:00 ●日曜講習会—市役所市民センター(市役所)10:00-14:00 ●市民図書館—市役所市民センター(市役所)10:00-14:00 ●子育て相談—市民相談室10:00-15:00
16日	●消費生活相談—市民相談室10:00-15:00 ●健康相談—ラブラビ10:00-11:30